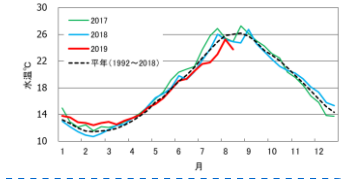




鳥取沿岸の水温

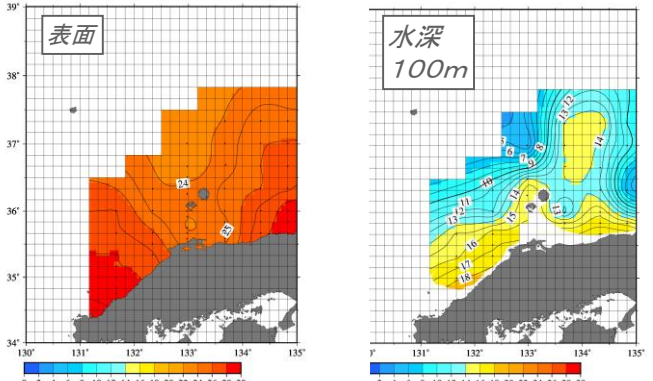
鳥取県栽培漁業センター 沈砂槽
(電話:0858-34-3321)

8月中旬 23.7℃
平年より 2.2℃低め

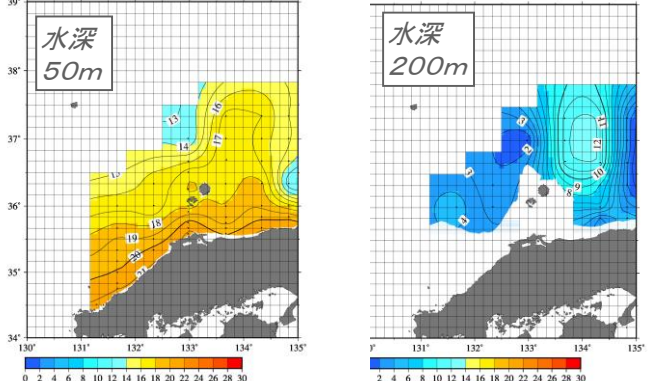


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)

試験船による海洋観測結果(8月上旬)



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は25～26℃で、平年より1℃低い値となっています。
鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は14～17℃を示し、隠岐諸島北方北緯36°40'と兵庫県沖北緯36°に冷水域、隠岐諸島北東北緯36°30'に暖水域(14℃)があります。



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域は17～20℃を示し、平年並みの値となっています。
隠岐諸島北東北緯36°30'に暖水域(8～12℃)があります。



8月上旬の水塊配置と対馬暖流	
鳥根沖冷水	鳥根県沖 北緯36°～北緯36°40'以北に認められます。
山陰・若狭沖冷水	兵庫県沖 北緯36°以北に認められます。
その他の水塊	暖水域: 隠岐諸島北東 北緯36°30'付近に認められます。
対馬暖流主流の流路	朝鮮半島東岸に沿って北上する流れと、鳥根県沖水に沿って東方へ向かう流れが認められます。鳥根冷水に沿った流れは隠岐諸島北方で北上し、その後、山陰・若狭沖冷水に沿って東方へ流れると考えられます。また、隠岐諸島北東の暖水域周辺に時計回りの流れが認められます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています、是非ご利用ください。

★水産課からのお知らせ★

石川県で日本海ブロック漁業士研修会が開催されました!
(来年は鳥取県で開催されます)

令和初めてのブロック漁業士研修会は、8月21～22日に石川県金沢市で開催され、青森から山口まで各県の漁業士など総勢57名が集まり、取り組んだ活動や今後の課題について意見交換が行われました。本県からは漁業士会の遠藤会長らが参加され、そこに水産課職員も同行させていただきました。研修会で共通の課題に挙げられた新規就業者確保に向けて、水産課も積極的に取り組んでいきます!!

【取り組んだ活動】

- ・担い手を育て、新規就業者の増加を目指す(秋田・京都・鳥取)
- ・魚食普及などで水産物に親しんでもらう(山形・鳥取)
- ・活締めや鮮度保持などにより価格向上を目指す(石川・福井)
- ・婚活イベントの実施(新潟・山口)、新たな漁法(青森) ...など

【共通の課題】 新規就業者の確保に向けた取り組み

- ・新規就業者確保に理解のある漁業者を指導者に!
- ・水産カレッジ・海の民学舎で実践的な技術指導!
- ・作業のマニュアル化により仕事の理解を早めた!

...など各県の漁業士の方々が取り組まれた内容が報告されました。就業者が仕事を覚えるだけではなく、地域へなじめるように支援されていました。



栽培漁業センター

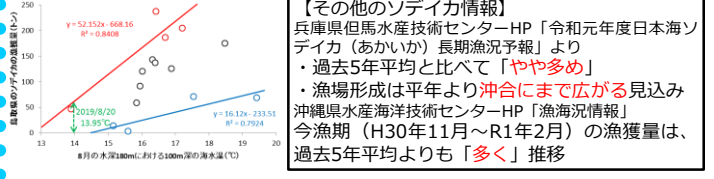
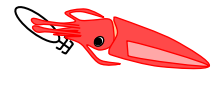
ソデイカ(赤いか)試験操業→顔見れず
※前年並みには獲れそうぞす

令和元年8月19日(月)に鳥取県漁協賀露支所の幸祐丸、松島丸に御協力いただき、赤いカの試験操業を行いました。結果は3.5時間で0尾・・・前日も賀露船9隻が操業して0尾ということで、厳しいことが予想されましたが、そのとおりの結果になってしまいました。

ただ、7月中にケンサキイカ(白いか)漁や小型定置網で赤いカの漁獲はあり、8月11日売りでは樽流しで6尾(賀露船3隻)の出荷があり、**本県への来遊は確認されています。**

●漁況予測●

- 8月の長尾鼻地先水深185m地点における100m深と赤いか漁獲量との相関関係から赤いカの漁況の予測を行っています。予測漁獲量は約59ト、**「直近5カ年平均程度」**の見込みです。



【その他のソデイカ情報】
兵庫県但馬水産技術センターHP「令和元年度日本海ソデイカ(あかいカ)長期漁況予報」より
・過去5年平均と比べて**「やや多め」**
・漁場形成は平年より**沖合にまで広がる**見込み
沖縄県水産海洋技術センターHP「漁況情報」
今漁期(H30年11月～R1年2月)の漁獲量は、過去5年平均よりも**「多く」**推移

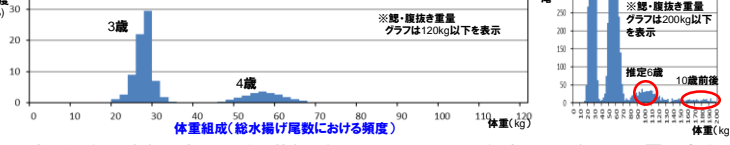
水産試験場

今季の境港のクロマグロ水揚げ状況等

○大中小型まき網による日本海側のクロマグロ漁は5月31日が初水揚げとなり、7月11日に目標漁獲量に達して終了しました。(水揚げ回数37回)

○水揚げ量(鯨・内臓除去重量)は868トン(昨年比16.7%減)と6年振りに1千トンを割り込みました。他漁港へ一部水揚げされたこと、養殖用種苗としての出荷増が主な要因です。水揚げ金額は11億2千251万円(昨年比11.3%減)。単価は、水揚げの集中回避の取り組み等から過去6年間で最高の1,293円/kgとなりました。

○水揚げの主体は30kg前後(3歳)と60kg前後(4歳)でしたが、100kg前後(推定6歳魚)や160kg～200kg(10歳前後)の大型魚も水揚げされ、高度衛生管理型市場に生まれ変わった新市場は大いに活気づきました。



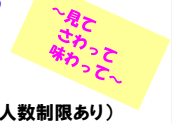
○一方、今季は3歳魚の小型化が顕著(平均尾長113cm、平均重量27kg)であり、胃内内容物調査から餌摂取量が少ないことがわかりました。小型化の主な原因は不明ですが、2016年生まれの3歳魚は比較的高加入年にあたることから、高密度による餌不足の可能性が考えられ、今後の動向には注視が必要です。
○来季は、水揚げ対象となる3～5歳魚の加入量が比較的高水準にあるため、水揚げの主体は30kg～90kg前後になると考えられ、境漁港のにぎわいに期待が膨らみます。

「第8回 水産試験場 海と魚の学習日」を開催!

参加無料 たくさんのご来場をお待ちしています

【日時】9月7日(土) 午前9時30分～午後3時
【場所】境港市内団地107 鳥取県水産試験場(雨天決行)
【内容】

- ・研究紹介『イカの魅力に迫る!(ブランド化の取り組み)』
- ・観覧者には白いかと、しまめいかの食べ比べ試食ケットの配布(人数制限あり)
- ・ヒレグロ(べらんすがい)の解剖 & 干物づくり教室(人数制限あり)
- ・ちりめんモンスターを探そう(久しぶりに復活です!)
- ・海藻を使ったしおり作り(時間限定)
- ・キジハタすくい・放流(人数制限あり)、タッチングプール
- ・試験船「第一鳥取丸」見学
- ・スラリーアイス体験や県産魚の美味しさ試食など 楽しいイベント盛りだくさん。



平成31年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

潮に夢を **共和水産株式会社**
代表取締役 岩田 祐二
〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530